

平成25年度 新居浜市まちづくり協働オフィス運営委員会 会議録

○日 時 平成26年2月17日(月) 14:30~15:45

○場 所 新居浜市役所3階 32会議室

○出席者 委 員：三並 保 委員(委員長)、矢野 鐵二 委員(副委員長)、
柿木 仁 委員、鴻上 智保子委員、古味 美紀 委員、
真鍋 曜 委員、村上 一美 委員、山本 節子 委員
(欠席：菅 秀臣 委員、桑原 涼一 委員、松浦 千春 委員、
関 福生 委員(市民部長))

受託団体：NPO法人にいほま市民企画ノポック 吉川業務統括責任者、米谷事務長
事 務 局：岡部市民部総括次長兼市民活動推進課長、井上主幹、大西主任、原田主事
計 14人

○傍聴人数 なし

○議事内容 平成25年度事業実績報告及び今後の事業計画について

○概要

14:30 開 会

挨拶・委員自己紹介・受託団体自己紹介・事務局自己紹介

委員長・副委員長選出：三並委員、矢野委員 了承・選出

受託団体：<平成25年度事業実績報告及び今後の事業計画について>説明

<質疑応答概要>

委員	今後、自治会等の地縁組織との関係性というのを考えて行かなくてはいけない気がするが、その辺りの案はあるのか。
受託団体	オフィスとしては地縁団体との関わりは歓迎で、中には既にそういった活動をされている団体もある。地域によっては、地域内の活動団体との連携で完結しているところもあるが、より広く集めるという意識を持っている自治会さんについては協働オフィスを利用して、ネットワークを広げてもらえたらと思う。 一点ご意見をいただきたい。協働オフィスには市外の団体さんの登録もあるが、そういう団体さんは新居浜の市税を使っているのに問題ないのかという意見もある。我々としては、そういう方に来ていただいて新居浜を知ってもらう事や、ネットワークを作ること、同じ分野の団体さんにはプラスになると思うが、いかがか。
委員	交流会に参加し、他市からの参加者が増えるのはいいことだが、ドネーションの場到他市団体が増えることについては、少し違和感を覚えた。普段の活動が新居浜市で行われているなら新居浜市民としての協力も考えられるが、他市に戻って行う活動だと、少しそぐわないのではないか。今回は初回だったので、次回以降寄付を募る団体も増えるの

	ではないかと思う。ドネーションのルール自体も考えた方がいいのでは。
委員	ドネーションパーティーで他市団体が発表をする時、全体にざわめきがあり、やはり違和感を持つ人が多かったと思う。ただ、交流会の趣旨としては他市からの参加も歓迎となっているし、ドネーションには、税金は関係なく、賛同する団体に自分の意思で自分のお金を寄付するのだから、趣旨から外れてはいないと思う。改善の余地はあるかもしれないが、他市団体の活動や考えはプラスになっていると思うので、開けた体制でいいのではないかと感じた。
委員	ドネーションパーティーについて、プレゼンのテクニックはもう少し洗練されないといけないと思うが、競争の中で自然に向上していくものだと思う。PRすることによって、活動もより洗練されていくと思うので、非常にいい試みだと思った。
委員	市外からわざわざ新居浜に来て、交流される団体があるということは、新居浜が先進的なことをしているということだと思うので、プラスに見ればいいと思う。
委員	普段オフィスに来て活動することがほぼないということであれば、他市の事例を参考にさせてもらって、前向きにとらえていいのではないか。
副委員長 受託団体	他市団体は具体的に何を求めて協働オフィスに登録しているのか。 一つは、新居浜でメンバーを募集したり、HPでイベントの広報をしたりということ。八幡浜・松山は特殊で、我々のような中間支援組織なので、新居浜にはどんな団体がいるのか知りたいという趣旨。宇摩・西条の団体は、新居浜市にもまたがって活動をしている。
副委員長	情報のやりとりだけならば新居浜市の税金どうこうというのは考えなくてもいいのではないか。他市の情報が入ってくるのはいいことだと思う。ドネーションパーティーについては、お金の扱いはシビアにした方がいいと思う。使われ方や、団体がどういうものかというのは分かりづらいところ。
受託団体	強制ではないが、お金の使われ方の報告は一応してもらおう予定で、そうでないと続かないと思う。
副委員長	交流会に参加したいだけなのに、半強制のようにドネーションがついてくるというのは気になるころではある。500円券は別に売の方がいいのではないか。
受託団体	500円寄付になるということで、参加者が減ったらどうしようという思いはあったが、今回は体験ということで、このような形にさせてもらった。今後自分で選択してもらい、一口500円で、何口でもと言う形も考えられる。
委員長	新居浜の登録団体は、ドネーションのプレゼンに他市からの参加があることに驚いたと思うが、事前に他市からの参加もあるとお知らせしていれば問題ないのではないか。同じ目的をもつ団体同士が情報交換しながら活動していくのは非常に大事。それをドネーションの形で今後もやっていくのか、別の形でやっていくのかは今後の課題だと思う。委員会としては、他市団体について歓迎と言う意見。方法についてのみ検討してもらえれば。
受託団体	先ほど言われたことが見える形でしていこうと思う。
委員	会議室を利用している団体は多いと思うが、そのスペースを広げて提供してもらえる可能性はあるのか。同じ場所で仕切りがあるだけの会議スペースなので、本来は閉じられた空間で会議したい団体さんもあると思う。
受託団体	オフィス設立当初から、会議室を増やしてほしいという意見はあったが、閉鎖空間を求めるのであれば、有料ではあるが文化センターの会議室を使ってもらおう方法もある。会

	議室をオープンで、ロッカーがあるという形にあえてしているのは、荷物の出し入れをする時に他の団体の活動が見えることで、他の団体にも興味を持ってもらえたり、他団体の工夫が見えるようにするという趣旨もあるので、協働オフィスとしては会議室のスペース拡張はあまり考えていない。
事務局	市としても、要望は承っているが、基本的には協働オフィスと同意見で、限られた空間の中でお互いの活動が見られて、助け合えるという環境で、交流の部分に主眼を置いているので、密閉された空間ということであれば他のところを借りていただけたらと考えている。
委員	会議をする時はみなさん場所を選んでいると思うが、協働オフィスで会議をする時は、話を広げなかったり、スタッフに助けてもらいたいときだと思う。オフィスの良さを上手に使いながらしているのではないか。
委員長	公民館は、他の校区の人が利用する場合でも、校区の人間が一人代表者としていれば利用できる。どうしても部屋がない場合は公民館を使うという方法もあるのではないか。
委員	公民館は地区によって利用方法が違い、そこがいいところでもあるが、ややこしいところでもある。
委員	どこに使える会議室があるのかあまり知られていない。市内の借りられる会場について一覧表のようなものがあれば、利用しやすくなるのでは。
委員	現在いろいろな団体がオフィスに登録しているが、団体の素性が気になることも時にはある。そういうチェックも今後協働オフィスの仕事の中に含まれてくるのでは。
受託団体	今までもそういうことはある。最初から調査するのではなく、一応信用してやって行く中で、そういう情報をいただいたら少し見させてもらうという形。

以上の質疑応答があった。

15 : 45 閉会